

# 磐城時報

編輯者 石城郡平町掛田町十四  
印刷者 石城郡平町掛田町十四  
印刷所 石城郡平町掛田町十四  
電話 一四三三  
代金 一圓  
廣告料 一圓  
訂金 一圓  
日刊（日曜、祭日）休刊

## 四倉築港起工式 來月十日前後決定

### 御免橋渡橋式も行ふ 顯官有志四百名招待

四倉築港起工式は九月十日前後に舉行するが當日は過般竣工した御免橋の渡橋式も併せ行ふ事に決定した。招待する顯官は内務大臣、農林大臣を始め知事、縣高官、地方有志、その他四百名で盛大を豫想されてゐる。

## 縣參事會 石城會計検査

### 平町で歡迎會

縣參事會員は十八日四倉町海氣館集合左の日割で石城郡内會計検査を行ひ二十二日解散するが平町では伏見町長、小田部平署の三名が立候補することに決定し、橋本署中校長、正木女學校尚二三名の候補あるものと見られ、その他發起となり午後六時から住吉屋本店で歡迎會を催はする。

## 濱三郡町村長が 不況對策の協議

### 二十二日平町に會合 引田地方課長臨席

濱三郡町村長は二十日午前十時から平町第三小學校に開き縣から引田地方課長外数名臨席不況對策問題、農山漁村の救済問題窮乏の底にうめく石城郡内

## 失業救済工事

鐵道

郷村約五百五十名の炭坑失業労働者救済工事は十七日同村役場で失業登録の受付を開始し、日中に二千圓の工費で縣の直營工事として砂利採及地上工事に着手するが、同工事の一部落として續いて附近の二石山のトンネル開鑿工事を五萬圓乃至十萬圓の工費で着手する事になった。

### 石城度量衡検査

石城郡内の度量衡検査は左の日

## 公平無私誠意を傾け 警察事務に當る

### 新任小田部平署長談

新任小田部平署長は十七日家族同伴で來平、直ちに各方面に挨拶をなした。伊藤前署長に事務の引継ぎを了し署長の椅子に納まつたが大体左の如く語つた。

「平警察署には巡査拜命以來今日まで一日も勤務した事がない。たゞ往年内郷村白水に五人殺しのあつた時と労働争議の起つた時と前後二回に亘り約二ヶ月間石城に居ただけである。だから地方の事情には全然通じてゐない。然し幸ひ前署長伊藤氏は平町に居られる事であるし萬事につけ心強い事であると思つてゐる。一日も早く管内の事情を知悉し誠心誠意公平無私警察事務を遂行したいと思つてゐる」

### 小麥増殖協議

警崎村農會では十九日午後一時から同村役場で小麥増殖に關する協議會を開くが、石城郡駐在米山技師出席する。

### 大浦村會

石城郡大浦村會は十八日開き左の各件について協議した。

### 變電所の小火

石城郡大浦村大字細谷字民町十五、十六から十七日の朝にかけて六番地農德三郎三男小林榮（二五）は十五日午後十時頃草野村大字泉崎光坊寺祭典の盆踊りに踊子の四倉町字仲古河竹松と些細の事から口論を始め榮は持ち合せた短刀で竹松の心臓部を突き刺し幅四寸深さ三寸五分に達する重傷を負はせたので居合せた人々が被害者を四倉町額賀病院にかつぎ込み手當中であるがなかくの重態である。四倉署で詳細取調中である。

### 踊り子の喧嘩 短刀で心臓部を刺す

石城郡大浦村大字細谷字民町十五、十六から十七日の朝にかけて六番地農德三郎三男小林榮（二五）は十五日午後十時頃草野村大字泉崎光坊寺祭典の盆踊りに踊子の四倉町字仲古河竹松と些細の事から口論を始め榮は持ち合せた短刀で竹松の心臓部を突き刺し幅四寸深さ三寸五分に達する重傷を負はせたので居合せた人々が被害者を四倉町額賀病院にかつぎ込み手當中であるがなかくの重態である。四倉署で詳細取調中である。

### 東日社の宣傳飛行機 小名濱に不時着陸

盛岡に向ふ途中故障

東京日新聞社宣傳飛行機を入西町海岸に不時着陸し十八日朝江格治氏が操縦し十七日東京市出發の豫定であつたが機械に故障から盛岡市に向ふ途中夕刻とな隙を生じたので機体を解体し東つたので繼續飛行が不可能となり京に轉送した。

### 盆中の 人出五萬

石城郡農會では十九日午前九時平名物盆踊りは例年の如く舊十

（前略）私等は相變らず元氣にて軍務に精勵致し居り候へば他事乍ら御休心被下度御願上候

### 菜種栽培講演會

石城郡農會では十九日午前九時平名物盆踊りは例年の如く舊十

### 滿洲から 慰問金に對す謝る狀

△扱て本日は多大なる御慰問金を下さり私は無言の涙にむせびつゝ有難頂戴致しました（中略）皆様御承知の如く滿洲の夏、銅鐵をも溶かす暑さでも夜は大暑氣候で涼しく尚蒙古の砂漠より訪れる風に一重の氣分があります。

（前略）私等は相變らず元氣にて軍務に精勵致し居り候へば他事乍ら御休心被下度御願上候

### 失業者救済工事

鐵道

（前略）私等は相變らず元氣にて軍務に精勵致し居り候へば他事乍ら御休心被下度御願上候

（前略）私等は相變らず元氣にて軍務に精勵致し居り候へば他事乍ら御休心被下度御願上候

（前略）私等は相變らず元氣にて軍務に精勵致し居り候へば他事乍ら御休心被下度御願上候

芳賀三武吉  
菅波新平

### 平町の労働賃銀 前年より二割安

深刻な不景気に正比例し労働賃銀は低落する一方で労働者や職人は何れも生活を脅かされてゐるが、平町役場の調査に依る十五日現在の各職人の賃銀は左の如く前年同期に比較し二割の暴落を来し日雇人の如きは終日働いて四十銭より貴へず加ふるにあれば勝て月二十日位稼げると好成绩といふ處。お盆休みが三日間も續いては食へなくなると大こぼしの態である。

### 石城地方の キャンプ村

平營林署では真夏の苦熱から逃れてキャンプする旅行者の爲め管内四倉、新舞子(二本杉)附近二ヶ所を開放し二百餘圓を投じてキャンプ施設をなし更に新井田浦下新田地へ約廿名收容宿泊出来る夏期休憩所を設置した處利用者頗る多今年は特に暑氣が激しかった關係等から好評を博したので來年度にはキャンプ區域を一層擴張し青林愛護思想普及を圖ることになった。

### 満洲から

步兵三十聯隊本部 (二) 江尻 進 然して兵器、彈藥、糧食、郵便物等は當隊に配給されたる交通列車に積載し毎日各驛各橋梁に分配致し居る現況に候交通列車の到着するや赫、顔向鉢巻、地下足袋の兵が集ひ争うて家郷よりの通信を受取りニコ、顔にて引き上げ行くを見る時とる涙の禁じ得ざるもの有之候

悄然として歸る姿は餘りにもいぢらしく同僚相寄り明日の望みを語る心を思ひ、知らず知らずの熱するを覺へ申し候、殊に同情すべきは橋梁警戒兵に候 附近には勿論民衆もなく止むなく線路の傍にトラック小屋を急造し僅かに雨露を凌ぐ建物の中に飯ごう生活を営み居り候、總て同線附近には井水は求むるに由なく河水の夾雑物の沈澱を待ちて使用致し居り候

### 世界の名湯國立療養所の所在地

### 命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變りません  
一、萬病に靈驗の効果のある天下の別府温泉を日常家庭で湯治の出来る重寶な家庭温泉  
一、從來の浴劑を斷然優越せる新發見劑  
一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化する理想的浴劑  
疲勞回復 健康増進の鍵  
病魔征服 傳染病豫防の武器  
眞の温泉療法は、若葉の三四月から夏に於て最も有効な時期です、是非御試用願ひます。  
六回分 (二日使用 十二日分) 五十圓  
十四回分 (同 廿八日分) 一〇〇圓  
三十四回分 (同 二ヶ月八日分) 二〇〇圓  
平町四丁目 小野屋藥舖 電話一四四番

横濱植木株式會社特撰 草花・蔬菜類 優良種子 各種賣出し致しました。 農園藥品の御相談は 西村屋藥局 電話三番

### 秘傳腫物湯

のんで効く はれ物の妙薬  
主一●面癩●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ  
●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前夜  
効一●等●よし  
●特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を残さず美容上最適の治療劑なり  
●定價 五十圓 七十圓 一〇〇圓 一〇五十圓  
●特約店 平町四丁目 小野屋藥店 四ツ倉町 荒川藥店  
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店  
湯本町 岩瀬屋藥店  
腫物湯製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

### 廣 告

●新任外科部長 内木學士來任  
●七月十一日ヨリ毎日診療ニ從事ス  
内臓外科 醫學士 内木宗八  
整形外科 泌尿器科  
昭和七年七月 平町新川町十九番地 外産婦人科 木村病院 電話一六四番

### 水の御用は

魚清水卸部 警察署通り 江名濱築港内 支店 江名販賣所 電話六十九番  
勿來製水會社一手販賣 平二丁目 電話四六七番へ

### 急性・慢性を問はず 淋疾は立派に全治す

(一)淋疾尿道炎、(二)消渴、(三)膀胱力乏  
ルには驚く可き効目がある  
高級治淋新藥 トリプチン 三一〇圓  
特約店 大平屋藥店 電話六四二番

### 代理店新設

當地方に古き關係の深い而も業績のよい 安心の出来る健實なる有隣生命 保險株式會社の代理店を引受けました。 何卒御利用の程を御願ひ致します。  
有隣生命保險株式會社 平北城主幹代理店 佐々木龍若 附屬社員 志賀 寛

### 和洋銅鐵金物問屋 釜屋商店

諸橋久太郎 電話九九番  
外科 花柳病科 專門 平町六丁目橋際 木村科外醫院 電話三〇九番